



NIPPON 日本元気プロジェクト2019 スーパーエネルギー!! GENKI PROJECT

6月8日(土)に六本木ヒルズアリーナにて開催された、
日本元気プロジェクト2019「スーパーエネルギー!!」
雨予報でしたが当日は奇跡的にお天気に恵まれ、
今年も約1万人もの来場者が集まり、活気溢れる一日となりました。
ご来場・応援ありがとうございました！
総勢約200人が出演した、メインイベントのショウの様子をレポートします！

Follow us!

 @kansaiyamamoto  kansaiyamamoto.jp

PROLOGUE

山本寛齋にとってブランド設立50周年となる2019年。デビュー作の「凧絵」を会場の正面にシンボルとして掲げ、ショーは、2人のダンサーによるパフォーマンスでスタート。うち一人は1973年にデヴィッド・ボウイが自身のツアーで着用した寛齋デザインの衣装を身に纏っての登場となった。神秘的な踊りが繰り広げられるなか、MCから「このイベントはお客様参加型のプログラム。客席には拍子木が置かれているので、これを使って、みなさんもプロジェクトの一員として盛り上げてほしい」とアナウンス。その後、ダンサー2人はステージ後方のいけばな草月流による竹のインスタレーションが施されたステージに阿吽像のように鎮座。



SCENE : 1

やがて倭太鼓飛龍による勇壮な和太鼓のリズム、奄美大島出身の歌手、里アンナの力強い声が響くなか、プロスキーヤー・冒険家の三浦雄一郎氏が校長を務めるクラーク記念国際高等学校パフォーマンスコースの生徒たちが4色の提灯を持って会場を駆け巡る。



SCENE : 2

ニッポンの若手クリエイターたちの刺激になれたらという想いから実現したANNA SUIとのコラボレーション。ビビットな衣装を身に纏ったモデルたちが登場。寛齋が創り出すエネルギーに満ちあふれた世界へと観客を誘った。



SCENE : 3

今年3月、75歳にして、10日間の北極圏冒険に挑んだ寛齋は、その旅から着想を得た、背中に白クマを描いた水色と白を基調としたスーツ姿で登場。続いて、地響きのような合唱のなか、寛齋の呼びかけで、5人のヒーローが登場した。建築家の隈研吾、福島県相馬市長の立谷秀清、創業400年を超える浅野太鼓楽器

店・代表の浅野昭利、エジプト考古学者の吉村作治、北極冒険家の荻田泰永という“前例のない未来を切り開いてきた”ヒーローは、寛齋が一人ひとりのために仕立てた男の勝負服「元気のセビロ」を着ての登場となった。



Follow us!

@kansaiyamamoto f kansaiyamamoto.jp

KANSAI SUPER STUDIO

2/3

SCENE : 4

その後、舞台上上がったのは「ラスト！」で活躍のパーカッショニストの石川直。ソロパフォーマンスの後は、港区南山小学校の児童が鍵盤ハーモニカで演奏し、TOKYU ROYAL CLUBから参加の小学生たちと石川がマーチングで共演した。寛齋たっての希望である未就学児の愛らしさをステージ上で表現すべく、1歳から5歳の子どもたちが最年少モデルとして出演！



SCENE : 5

引き続きステージ上では、「若き才能が燃えられる機会を作りたい」という寛齋の発案でスタートした「国際文化交流プロジェクト」に参加した、日本とイギリスの7校の各学校から選ばれた代表者1名ずつによる作品が発表された。「最近幸せだと思うのは、若い方々の気持ちに寄りそい、悲しんだり、超喜んだり、時には苦しみをシェアすること、そして、彼らとこれからの未来をこんなふうに創りたいなと考えること」と語る寛齋の指導の下、学生たちは「マンガ」をテーマにした衣装を制作。ステージにはその作品

を身に纏ったモデルとともに、作品を手がけた学生も登壇し、大きな喝采を浴びた。これらの作品は、イギリスの大英博物館で5月23日より開催されている海外過去最大規模の漫画展『The Citi exhibition Manga』のフリンジイベントとなる『Late-Manga: Colour and style』と連動。7月5日に大英博物館のグレートコートで行なわれるファッションプレゼンテーションでも発表される。



FINAL

その後、ステージはフィナーレに突入。「日本元気プロジェクト」の歌姫・里アンの魂の歌声と、「東京レザーフェア」とコラボレーションした革半纏を纏ったクラーク記念国際高等学校と台東区にある岩倉高等学校の生徒約50名が「21世紀の三三七拍子」を踊る姿は、「情熱を持って夢を追い続ける人」たちへのエールとなったはずだ。その崇高な調べのなか、ステージ上だけでなく、客席の通路も、モデルや演者たちが埋め尽くし、ボルテージは最高潮に達した。

またこの日のショーには、昨年HEROESとして出演した元サッカー日本代表のラモス瑠偉氏やプロスキーヤーで冒険家、そしてクラーク記念国際高校校長の三浦雄一郎氏、さらには元総理大臣の福田康夫氏、東京都知事の小池百合子氏らが応援に駆けつけ、客席からエールを送っていた。



第100回東京レザーフェア記念事業「THE・前夜祭」

皮革関連企業57社で構成されるトレードショー「東京レザーフェア」の100回目を記念して「THE・前夜祭」が2019年5月21日に浅草神社で開催されました。「THE・前夜祭」は日本元気プロジェクトとコラボレーション。寛齋監修の下、台東区立富士小学校の6年生約70人が「太陽」と「富士山」をテーマにペイントを施した革半纏を、クラーク記念国際高等学校と台東区にある岩倉高校の生徒50名が纏い、歌手・里アンの歌声の中、「21世紀版 三三七拍子」を熱演しました。

オフィシャル動画はこちらからご覧いただけます。

<https://youtu.be/7oMadzfyh18>

©TOKYO LEATHER FAIR

Follow us!

@kansaiyamamoto kansaiyamamoto.jp

KANSAI SUPER STUDIO

3/3